



創刊号では**治験コーディネーター(CRC)**についてご紹介しました。今回は実際に働いているCRCさんにインタビューです!!
新薬の開発をお手伝いしている、**ベテランCRC**の市川さんです。

何年働いていますか?
市川:3年がたちました。

どのくらいの患者さんに協力して頂いていますか?

市:糖尿病薬の治験だと28名、高血圧症の薬だと6名、肝硬変治療薬1名、肺炎治療薬1名、高コレステロール薬6名、・・・と日本全国だともっと沢山の患者様にご協力頂いています。

きっかけを教えてください。

市:大学卒業してから、同じ会社の調剤薬局で保険薬剤師として働いていました。薬局で働いて3年が過ぎたある日、上司から「治験やらないか?」と声をかけてもらったのがきっかけです。社内業務の拡大に伴い大きなチャンスを得たというわけですね。

嬉しかった出来事は?

市:未来の薬の可能性が垣間見えた瞬間ですね!!「調子がいいよ!!」や「薬が効いてきたよ!!」などの声を頂いた時はやはり嬉しかったです。

ぶっちゃけエピソードはありますか?

市:たくさんありますよ(笑)。持参していただくものを患者様が自宅に忘れてしまい、取りに行ったり。来院していただいたのに、診察直前に停電になり、電力が復旧しないため後日再来院していただいたり。自宅で取れたお米やフルーツを頂いたり。



停電なんですすみません...

辛かった出来事は?

市:治験参加中の患者様が症状の悪化により街中で倒れ、救急車で運ばれた時です。。。医師の適切な処置により症状はすぐに回復し、結果何事ありませんでしたが、申し訳ない気持ちで一杯でした。

治験コーディネーターの仕事について

一言お願いします。

市:患者様と一緒に**未来の患者様のために新薬の開発に携われる!!**そこに大きなやりがいがあり、喜びがある仕事だと思います。

治験に興味ある方へ

一言お願いします。

市:治験は怖いと思っている方が多いとは思いますが、治験は研究的要素を含むことは勿論ですが、**治療の一つの選択肢**としてご紹介していますので、よく質問しよく理解することが大切です。



12月4日(土)14時~厚木文化会館にて市民講座開催!!

全国どこでも処方箋も受付致します。「安心・安楽・迅速」がモットーの「なかよし薬局」です。

Supported By なかよし薬局

2010年10月発行

船子店:046-220-6868
関口店:046-244-1011
局前店:046-284-5200

高森店:0463-90-2311
愛甲店:046-248-7622
恩名店:046-296-5533

愛川店:046-284-2227
妻田店:046-222-2801
酒井店:046-226-8222

NEW !!

Supecial Thank's:いっちー

Editor:さいとー